

学校給食の食材に関する意見書

原発事故から三カ月が経過しましたが東京都では、未だに詳細な計測が実施されていないため、子育て中の親は生活をする上で安全かどうか分らず不安な状況がつづいている。

特に、子どもの発育に欠かせない栄養素の部分では将来、体に悪影響を及ぼす恐れのある食材は摂取させたくないと思うのは、どの親でも同じ気持ちである。

政府が食材に対して安全で問題ない範囲と判断して放射性物質の安全基準値を引き上げたが、世界中の国々の基準とは大きく異なり、何十倍もの高い基準値に設定されている。

現在の高い基準値の食材を子どもたちが食することで将来、誰も予想がつかない悪影響を体に加え、取り返しのつかない状況になる可能性も否定できない。

子どもたちが毎日楽しみにしている学校給食の食材については、子どもたちの日々の成長と将来に少しでも不安を与える食材を使用することは避けるべきである。

よって、町田市議会は、政府関係機関に対して、子どもたちが口にする食材について、基準の数値を引き下げ、厳しくすることを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。